

2024年11月12日

地域・都道府県サッカー協会 御中  
各種連盟 御中

公益財団法人 日本サッカー協会

## 暑熱環境下におけるサッカー活動について(周知)

平素は、本協会の事業に対し、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本協会では、2016年3月に「JFA 熱中症対策ガイドライン」を策定して以降、各団体のご協力のもとサッカーに関わる皆様の安全確保に取り組んでまいりました。しかしながら、気候変動の影響は年々深刻さを増し、暑熱対策を講じていても、熱中症により尊い命が失われる痛ましい事案がスポーツ・サッカー界において毎年のように発生しています。また、暑熱環境下では選手のパフォーマンスの低下も顕著であり、選手育成の観点からも本来在るべき姿とは言えない状況です。加えて、暑熱問題以外にも落雷や豪雨等の荒天の発生など、事業運営の観点からも関係する皆様の安全面の確保が難しくなっています。

JFA はこうした背景を踏まえ、安心・安全なサッカー環境の確保やオフの期間の確保を含めた最適な選手育成環境の提供のため、熱中症対策ガイドラインの厳格な遵守を改めて強くお願いするとともに、さらに踏み込んだ対策を講じる必要があると考え、別紙のとおり本協会主催事業の開催方針を定めます。

本方針は地域・都道府県サッカー協会および各種連盟の主催事業について直接的な制約を設けるものではありませんが、本件は JFA のみならずサッカー界が一丸となって取り組むべきテーマであるところ、都道府県・地域サッカー協会をはじめ各加盟団体においても、本方針をご理解の上、当事者として暑熱環境下における事業を見直すきっかけとしていただきたく存じます。

サッカー・スポーツは命を危険に晒してまで行わなければならないものなのか、サッカー界全体が一度立ち止まり真剣に考えなければならない時期に来ています。サッカー活動中の悲しい事故を二度と起こさない強い決意をもって向き合うとともに、選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境の確立に向け、皆様方とともに取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

以上

(参考)JFA 熱中症対策ガイドライン: [https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke\\_guideline.pdf](https://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf)

<本件に関するお問い合わせ先>

公益財団法人日本サッカー協会 技術部 (担当: 荒谷・須田)  
TEL: 03-6631-0555 E-mail: [jfa\\_youth\\_develop@jfa.or.jp](mailto:jfa_youth_develop@jfa.or.jp)

## JFA 主催・管轄の夏季大会・リーグ戦・フェスティバル等の開催方針

JFA は、サッカーに関わる全ての方々に熱中症対策ガイドラインの厳格な遵守を改めて強くお願いするとともに、「尊い人命を守るための安心・安全なサッカー環境の確保」及び「オフ期間の確保を含めた選手のパフォーマンスの最大化に向けた最適な環境の提供」を目的として、暑熱時期における各種の競技会及び事業の開催方針を下記の通り定めます。

### 記

- 2025 年度以降、JFA の主催・管轄する大会・リーグ戦・フェスティバル等は 7 月・8 月は原則開催しない。
- ただし、屋内・ナイター・冷涼地等において、熱中症対策ガイドラインに則し、事業に関わる皆様の安全確保が十分に可能と判断できるような環境下であれば、事業を実施する場合がある。
- 他団体が主催する全国規模の競技会等についても、安心・安全な環境が確保できるようカレンダーの調整や関係各所との協議を進めていく。

### ○都道府県・地域サッカー協会、各種連盟が主催する事業の取り扱いについて

- ・ 熱中症ガイドラインに即した事業運営ができるよう、今一度、運営方法の点検をお願いするとともに、夏季に実施する事業の見直しをお願いします。但し、全ての事業について 2025 年度から上記方針の適用を強制するものではなく、地域や団体の実情に応じて皆さまとカレンダーの調整や実現に向けた協議を行ってまいります。
- ・ また、冷涼地のように、暑熱時期においても熱中症対策ガイドラインに即した事業運営ができる地域においては、必ずしも 7,8 月の事業開催を否定するものではありません。
- ・ カレンダーの調整等において課題が発生する場合には、JFA としても、適宜制度の見直しや適切なサポートについて検討を行うものとします。その一環として、JFA では、各都道府県においてカレンダーがより柔軟に調整できるよう、2024 年度より、U18/U15/U12 リーグ戦の目標試合数を「20 試合」から「14～20 試合」に緩和するなどの取り組みを行っています。
- ・ 暑熱時期に事業を実施する場合の具体的な対策として以下ご参考下さい。
  - ①事前の準備: よりリスクの低い環境下での開催を模索する。  
⇒ナイター開催、早朝開催、より WBGT 実績値の低い場所(高地、沿岸部等)での開催
  - ②当日の対策: 勇気を持って中断・中止すること。  
⇒その判断をするスタッフ(責任者)の設置。大会要項に中止の対応(勝敗の決定方法等)の記載。

### ○その他

Jリーグや WE リーグなど、既に夏場においてナイターでの開催等、熱中症ガイドラインに即した運営がなされている競技会については、引き続き、安心・安全を十分に留意の上、実施下さいますようお願いいたします。

以上